



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

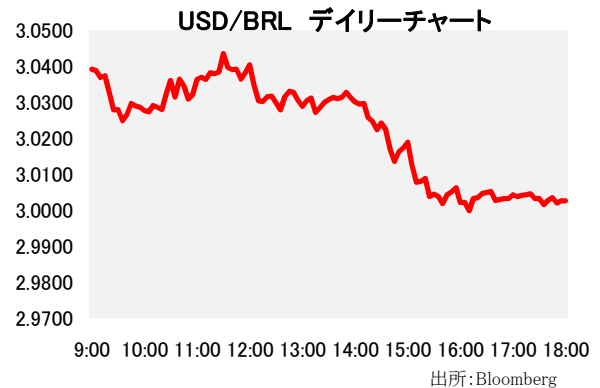
## 1. マーケット・レート

			5月14日	5月15日	5月18日	5月19日	5月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.9940	2.9960	3.0050	3.0380	3.0020	-0.0360
	BRL/JPY	Spot	39.80	39.82	39.92	39.75	40.42	+0.67
	EUR/USD	Spot	1.1411	1.1451	1.1314	1.1149	1.1094	-0.0055
	USD/JPY	Spot	119.18	119.25	119.99	120.70	121.35	+0.65
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.739	13.738	13.777	13.796	13.765	-0.031
	Future	1Year(p.a.)	13.747	13.724	13.769	13.802	13.701	-0.101
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	1.574	1.490	1.508	1.050	1.478	+0.428
		1Year(p.a.)	2.124	2.017	2.059	2.046	2.036	-0.010
株式	Bovespa指数		56,657	57,249	56,204	55,499	54,901	-598
CDS	CDS Brazil 5y		229.11	231.00	225.31	228.00	224.50	-3.50
商品	CRB指数		231.769	231.457	230.678	226.217	226.429	+0.21

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

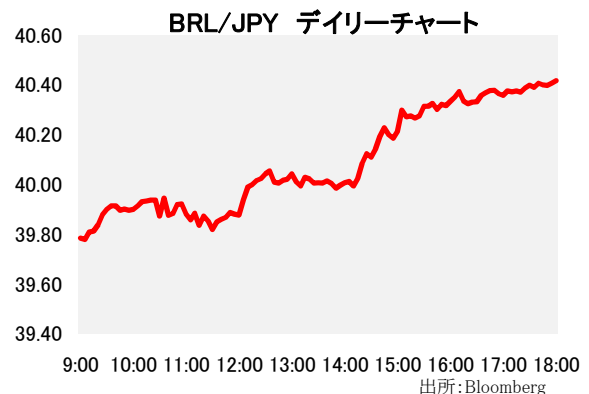
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
なし			



## 3. 要人コメント

クーニャ下院議長	所得税増税の法案はまだ決議事項であり、明日可決されるとは言い難い。
----------	-----------------------------------



## 4. トピックス

- 本日のドルレアルは3.0340で寄り付き、ボベスパ指数の軟調推移を受けて本日の安値となる3.0440をつけた。本日は主要な経済指標の発表がなく、午前中のレアルは方向感に乏しい展開となった。FOMC議事録発表前後に、大口のインフローと思しきレアル買いが出て、レアルは上昇した。FOMC議事録の内容にはサプライズはなかったが、FRB当局者が利上げを急いでいないことが示されたことで、新興国通貨に買い安心感が出て、レアルはそのまま高値となる2.9990まで上昇し、3.0020で引けた。
- FOMC議事録では4月のFOMCで、参加者の多くが6月の利上げの可能性が低いと考えていることが示された。経済については4月の声明文と同様に第2四半期以降、緩やかなペースでの拡大に戻ると予想された。従前通りの内容が踏襲されたことから、ドルは対主要通貨では動かなかったが、FRBが利上げを急がない姿勢が示されたことを受けて、新興国通貨は総じて買われる展開となった。
- 米エネルギー情報局の原油在庫統計で在庫が減少していることを受けて、原油価格は底堅く推移した。WTI先物の7月限は59ドル台まで上昇している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。